

第 1 5 回川崎病全国調査成績

厚生省「川崎病のサーベイランスとその治療法に関する研究」班

[連絡先] 〒329-0498 栃木県河内郡南河内町薬師寺3311-1
自治医科大学保健科学講座（疫学・地域保健学部門）気付
川崎病研究班疫学調査事務局
事務連絡担当 屋代真弓

TEL 0285-44-6192

FAX 0285-44-7217

平成 1 1 年 8 月 3 1 日

第15回川崎病全国調査成績

はじめに

1970年以来2年に1回の間隔で14回にわたって、川崎病全国調査が行なわれてきたが¹⁻²³⁾、今回1997年～1998年の2年間の患者を対象に実施した第15回川崎病全国調査の成績がまとまった。2年間の調査成績より、報告患者数、性・年齢分布、同胞例、再発例、心障害例（急性期、後遺症）、初診時の検査所見、治療状況等の疫学像が明らかになったのでその概要を報告する。

I. 方法

第15回川崎病全国調査は、1997年1月1日より1998年12月31日の2年間に小児科を併設する100床以上の病院、および小児科のみを標榜する100床未満の専門病院を受診した川崎病初診患者を対象にした。調査を依頼した施設のリストは、厚生省健康政策局総務課編「病院要覧1997年版」（医学書院発行）によって作成した。対象施設数は2,663か所であった。（添付の調査票参照）

II. 調査結果

1. 回収率

該当施設2,689か所のうち、廃院等の連絡があった26施設を除く2,663施設を調査対象とした。回答は1,825施設から得られ、回収率は68.5%であった。そのうち、患者報告があった施設は1,071施設（回収施設の58.7%）であった。回収率は、都道府県によって51.4%～87.5%の開きがみられたが、おおむね65%以上の高い回収率であった。

都道府県別の対象施設数、回答施設数、回収率、患者あり施設数、患者報告数は表1に示すとおりである。

2. 年次推移

今回の調査で報告された2年間の患者数は、1997年6,373人、1998年6,593人のあわせて12,966人であった。性別患者数は、男7,489人、女5,477人で、2年間平均の罹患率は0-4歳人口10万対109.8（男123.8、女95.1）であった。患者数の性比は1.37、罹患率の性比は1.30で男が多かった。過去14回に報告された患者を含めると1998年12月末までの患者数は、合計153,803人（男89,272人、女64,531人）になった。患者数の年次推移をみると、表2、図1に示すように、男女とも1970年頃から着実に増加する傾向がみられる。これまでに1979、1982、1986年の3回にわたり全国規模の流行がみられたが、1987年以降10年間は、全国的な流行はみられていない。しかし、1987年以後も増加傾向がみられ、ここ数年患者数は6,000人を越え、ゆるやかに増加の傾向を示している。罹患率の年次推移をみると、3回めの流行直後に比べて1994年には37%増加し、100を越した。1995年以降も増加傾向が持続し、1998年には51%増加して111.7となっており、今後の動きを注意深く見守っていかなければならない。

図2は罹患率の年次推移を性別にみたものであり、男女とも同じような傾向を示している。

3. 月別推移

2年間の月別、性別患者数を図3に示す。男女とも秋（9～11月）は少なめであった。1998年の1月は他の月に比べて患者数がかなり増加しており、比較的規模の大きな流行があったと考えられる。また、すべての月で男が多かった。

4. 年齢分布

年齢別にみると3歳未満の者が全体の70.7%（男71.9%、女69.2%）を占めてい

た。1997、1998年平均の性・年齢別罹患率は、男は9-11か月、女は3-5か月にピークがみられる一峰性のカーブを示していたが、男女とも6-8か月に小さな窪みがみられた。罹患率の性比は、月齢が6-8か月の者で最も大きく1.57であった。(表3、図4)

5. 地域分布

2年間の患者住所都道府県別報告数の最も多いのは、東京1,327人、次いで神奈川979人、大阪883人、兵庫728人の順であった。(表4)

過去6年間の都道府県別罹患率を0-4歳の人口10万に対する割合で計算したものが表5である(都道府県別罹患率は1995年国勢調査人口を使用し、全国の罹患率は各年次の推定人口を用いて計算した。ただし1998年は前年の人口を使用)。1996年以前に比べて罹患率が著しく増加したところとして、兵庫、群馬、滋賀などがあげられた。また6年間全体を通して低いところとして、福島、鹿児島、沖縄などがあげられた。1997、1998年の2年間の平均値について、都道府県別罹患率の地図を作成した。(図5)左は0-4歳人口10万対罹患率の実測値の地域差を示すが、都道府県によって回収率が異なるので、未回収施設も同じ患者数があると仮定して回収率を100%に補正した地域差を右に示した。その結果、関東、近畿、四国、九州に罹患率の高いところがみられたが、東北、南九州、沖縄では低かった。

1997、1998年についても回収率を補正して図を作成した結果(図5つづき)、1997年は2年平均の地域差とほとんど同様であったが、1998年は、関東、近畿から四国地方にかけての広い地域に罹患率の高いところが拡大していた。このことから、1997年から1998年にかけて、この地域を中心に局地的な流行があったと推測される。

6. 診断

診断基準への一致度をみると、定型例84.3%(男85.3%、女82.9%)、不定型例3.7%(男3.5%、女3.9%)、容疑例12.0%(男11.2%、女13.2%)であった。

なお、定型例は「川崎病診断の手引き」に示された6つの主要症状のうち5つ以上の症状を伴う者、不定型例は4つの症状しか認められなくても、経過中に断層心エコー法もしくは、心血管造影法で、冠動脈瘤(いわゆる拡大を含む)が確認され、他の疾患が除外された者をいう。また容疑例は上記のいずれにも合致しないが、主治医が川崎病の疑いありと診断した者をいう。

7. 検査項目

今回、新たに調査項目に追加したヘマトクリット値および白血球数、好中球数の分布についてみる。まず、年齢別にみたヘマトクリット値では、若年齢では32.5%未満の低い値の者が多く、年齢が高くなるにつれて高い値の者が多くなった。(図6)

年齢別にみた白血球数の分布では、10000/ μ l未満の割合は、年齢が高くなるにつれて増加する傾向がみられたが、明らかな年齢差はみられなかった。(図7)

年齢別にみた好中球数では、2歳未満は60%未満の低い値の者が多く、年齢が高くなるにつれて高い値の者が多くなり、著明な年齢差がみられた。(図8)

8. 同胞例

同胞例ありの割合は報告患者中1.1%(男1.0%、女1.3%)であった。同胞例ありの者の割合を性・年齢別にみると、男は年齢とともに上昇する傾向がみられた。女は、例外的に4歳で極端に低くなっていた。(図9)

9. 再発例

再発例の割合は報告患者中3.1%(男3.2%、女2.9%)であった。性・年齢別にみると、男女とも年齢とともに上昇していた。(図10)

10. 死亡例

死亡例は2年間に11例（男10例、女1例）報告され0.08%を占めていた。性別にみると、男が圧倒的に多く、年齢別にみると、0-11か月が0.16%で最も高かった。（表6）

11. 心障害例

今回から心障害については、発病後1か月以内に出現した急性期の心障害と1か月以降も残存する後遺症にわけて調査を実施した。

心障害例（急性期）の割合は報告患者中20.1%（男22.0%、女17.6%）であり、男が高率を示していた。心障害（急性期）ありの者の割合を性・年齢別にみると男女とも6か月未満の若年児と9歳以上の高年児が高く、ゆるやかなU型のカーブを示し、各年齢とも女は男に比べて低かった。（図11）

心障害（急性期）の種類別の割合は報告患者中、冠動脈の拡大15.51%、瘤3.15%、弁膜病変1.68%、巨大瘤0.55%、狭窄0.05%、心筋梗塞0.05%であった。それを男女別にみたものが図12である。弁膜病変以外すべて男が高かった。

心障害（急性期）の種類別の出現率を2歳未満と、2歳以上の2区分に分けてみたものが図13である。拡大、弁膜病変、狭窄の出現率は2歳以上でやや高率にみられ、瘤、巨大瘤、心筋梗塞の出現率は2歳未満の若年児に高率にみられた。

心障害例（後遺症）の割合は報告患者中7.0%（男8.2%、女5.5%）であり、男が高率を示していた。心障害例（急性期）に比べて男女とも約1/3に低下していた。心障害（後遺症）ありの者の割合を性・年齢別にみると男は6か月未満の若年児と9歳以上の高年児が高く、他の年齢ではあまり変化がなかった。女は6か月未満の若年児と8歳以上の高年児が高くゆるやかなU型のカーブを示していた。8歳以上の高年齢以外、女は男に比べて低かった。（図14）

心障害（後遺症）の種類別の割合は報告患者中、冠動脈の拡大4.43%、瘤1.97%、巨大瘤0.52%、弁膜病変0.43%、狭窄0.11%、心筋梗塞0.06%であった。それを男女別にみたものが図15である。心筋梗塞と狭窄以外すべて男が高かった。

心障害（後遺症）の種類別の出現率を2歳未満と、2歳以上の2区分に分けてみたものが図16である。弁膜病変、瘤の出現率は2歳以上でやや高率にみられ、それ以外は2歳未満の若年児に高率にみられた。

12. 初診時病日

患者の初診日は第4病日が最も多かった。2歳未満と2歳以上の2区分に分けてみたものが図17である。第4病日までに受診した者は2歳未満の者では63.2%を占めていたが、2歳以上の者では50.4%であり、2歳未満の若年児が早く受診する傾向を示していた。

13. 治療

ガンマグロブリンの治療を受けた者は84.0%（男84.6%、女83.2%）を占めていた。性・年齢別ガンマグロブリン使用ありの割合は、男女とも4歳未満の若年児では約85%を占め、高年児では下降していた。

ガンマグロブリンの1日あたりの投与量は、301-400mg/kgの者が最も多く48.9%、次いで901-1000mg/kgの者13.9%、201-300mg/kgの者9.9%となっていた。投与期間は5日が最も多く、56.8%、次いで1日15.8%、3日10.3%であった。前回に比べて1日大量投与が増加した。（表7）

ガンマグロブリンの1日投与量と使用日数から計算した使用総量は、2000mg/kgが最も多く47.0%、次いで1000mg/kgが18.0%、1200mg/kgが10.3%であった。（図18）

ガンマグロブリンの投与開始日を年齢別にみると、2歳未満が早く投与を開始する傾向がみられ、第5病日までに投与を開始した者の割合は2歳未満では67.5%、2歳以上では54.5%と10%以上の開きがあった。（図19）

Ⅲ. 要約

1. 2年間の報告患者数は12,966人であった。
2. 月別患者数は男女とも、秋は少なめであった。1998年の1月は他の月に比べて増加していた。また、すべての月で男が多かった。
3. 性、年齢別罹患率は男女とも0歳台にピークを示す一峰性のカーブであった。
4. 0-4歳人口10万対罹患率は、1997年が108.0（男122.0、女93.2）1998年は111.7（男125.6、女97.0）であった。
5. 罹患率の地域差をみると、関東、近畿、四国、九州に罹患率の高いところがみられたが、東北、南九州、沖縄では低かった。このことから、1997年から1998年にかけてこれらの地域を中心に局地的な流行があったと推測される。
6. 診断基準への一致度をみると、定型例84.3%、不定型例3.7%、容疑例12.0%であった。
7. 同胞例、再発例、心障害（急性期）例、心障害（後遺症）例の出現頻度は、それぞれ1.1%、3.1%、20.1%、7.0%であった。
8. 死亡例は2年間に11人（男10人、女1人）報告され、全体の0.08%を占めていた。
9. 心障害（急性期）の内容では、冠動脈の拡大15.51%、瘤3.15%、弁膜病変1.68%、巨大瘤0.55%、狭窄0.05%、心筋梗塞0.05%であり、弁膜病変以外すべて男が高かった。年齢別にみると、拡大、弁膜病変、狭窄の出現率は2歳以上でやや高率にみられ、瘤、巨大瘤、心筋梗塞の出現率は2歳未満の若年児にやや高率にみられた。
10. 心障害（後遺症）の内容では、冠動脈の拡大4.43%、瘤1.97%、巨大瘤0.52%、弁膜病変0.43%、狭窄0.11%、心筋梗塞0.06%であり、心筋梗塞と狭窄以外すべて男が高かった。年齢別にみると、弁膜病変、瘤の出現率は2歳以上でやや高率にみられ、それ以外は2歳未満の若年児にやや高率にみられた。
11. 患者の初診日は第4病日が最も多く、2歳未満の若年児がやや早く受診していた。
12. ガンマグロブリンの治療を受けた者は84.0%を占め、1日あたり投与量は301-400mg/kgの者がもっとも多かった。ついで901-1000mg/kgの者が多く、1日大量投与が増加した。また総投与量は、2000mg/kgが最も多く47.0%、次いで1000mg/kgが18.0%、1200mg/kgが10.3%であった。
13. 年齢別にみた検査項目値は、ヘマトクリット値では、若年齢では32.5%未満の低い値の者が多く、年齢が高くなるにつれて高い値の者が多かった。白血球数の分布では、10000/ μ l未満の割合は年齢が高くなるにつれて増加する傾向がみられた。好中球数では、2歳未満は60%未満の低い値の者が多く、年齢が高くなるにつれて高い値の者が多かった。

おわりに

第1回全国調査以来終始変わらぬご協力を賜った関係医療機関の小児科医各位に対し、本研究班として深く感謝します。

今回の調査にご協力いただいた全国1,825施設の医療機関名を巻末に付記します。

[表1] 都道府県別回収状況

	対象施設数	回答施設数	回収率	患者あり 施設数	患者* 報告数
総数	2,663	1,825	68.5	1,071	12,966
1 北海道	159	108	67.9	57	512
2 青森	42	29	69.0	16	155
3 岩手	41	27	65.9	17	125
4 宮城	48	38	79.2	19	183
5 秋田	29	23	79.3	12	66
6 山形	26	18	69.2	11	136
7 福島	64	44	68.8	22	159
8 茨城	67	43	64.2	25	279
9 栃木	37	29	78.4	19	235
10 群馬	43	32	74.4	16	261
11 埼玉	114	62	54.4	32	472
12 千葉	99	65	65.7	37	667
13 東京都	194	130	67.0	88	1,435
14 神奈川県	124	81	65.3	53	959
15 新潟	54	36	66.7	24	205
16 富山	29	18	62.1	15	83
17 石川	38	30	78.9	16	129
18 福井	24	21	87.5	8	83
19 山梨	24	15	62.5	8	80
20 長野	52	36	69.2	25	249
21 岐阜	46	35	76.1	24	215
22 静岡県	57	46	80.7	35	411
23 愛知県	119	75	63.0	53	637
24 三重	31	25	80.6	16	142
25 滋賀	27	23	85.2	21	173
26 京都	68	38	55.9	25	302
27 大阪	181	118	65.2	71	867
28 兵庫県	108	75	69.4	50	724
29 奈良	28	21	75.0	15	127
30 和歌山	25	18	72.0	14	157
31 鳥取	16	13	81.2	7	64
32 島根	25	20	80.0	11	68
33 岡山	46	29	63.0	12	169
34 広島	60	47	78.3	29	340
35 山口	43	37	86.0	18	168
36 徳島	25	15	60.0	9	94
37 香川	26	20	76.9	13	128
38 愛媛	40	26	65.0	15	149
39 高知	28	19	67.9	8	78
40 福岡	102	72	70.6	33	669
41 佐賀	24	16	66.7	6	61
42 長崎	46	35	76.1	15	166
43 熊本	59	42	71.2	13	180
44 大分	25	20	80.0	10	117
45 宮崎	20	12	60.0	8	118
46 鹿児島	43	24	55.8	13	109
47 沖縄	37	19	51.4	7	60

* 施設所在地の都道府県別患者数

[表2] 性別患者数、罹患率、死亡数、致命率の推移

年次	患者数			0~4歳10万対年間罹患率			死亡数 (致命率%)
	計	男	女	計	男	女	
~1964	88	58	30	1.1	1.4	0.8	—
1965	61	33	28	0.8	0.8	0.7	—
1966	79	49	30	1.0	1.2	0.8	—
1967	101	60	41	1.2	1.4	1.0	2(1.98)
1968	310	177	133	3.7	4.1	3.2	6(1.94)
1969	461	281	180	5.3	6.3	4.3	9(1.95)
1970	887	527	360	10.1	11.8	8.4	10(1.13)
1971	804	480	324	8.7	10.1	7.1	12(1.49)
1972	1,135	658	477	12.0	13.5	10.4	16(1.41)
1973	1,524	928	596	15.6	18.4	12.5	35(2.30)
1974	1,963	1,157	806	19.7	22.6	16.7	20(1.02)
1975	2,216	1,332	884	22.3	26.1	18.3	16(0.72)
1976	2,337	1,406	931	23.9	28.0	19.6	16(0.68)
1977	2,798	1,706	1,092	29.3	34.8	23.5	18(0.64)
1978	3,459	2,064	1,395	37.7	43.7	31.2	14(0.40)
1979	6,867	3,987	2,880	78.0	88.1	67.3	38(0.55)
1980	3,932	2,317	1,615	46.5	53.4	39.2	8(0.20)
1981	6,383	3,677	2,706	78.3	87.9	68.2	16(0.25)
1982	15,519	8,762	6,757	196.1	215.8	175.4	49(0.32)
1983	5,961	3,441	2,520	77.3	86.9	67.1	17(0.29)
1984	6,514	3,790	2,724	86.0	97.5	73.9	19(0.29)
1985	7,611	4,430	3,181	102.1	116.4	87.1	10(0.13)
1986	12,847	7,250	5,597	176.8	194.7	157.9	18(0.14)
1987	5,256	3,066	2,190	73.8	84.0	63.1	10(0.19)
1988	5,217	3,056	2,161	75.3	86.0	64.1	4(0.08)
1989	5,591	3,251	2,340	83.6	94.7	71.9	8(0.14)
1990	5,706	3,268	2,438	88.1	98.4	77.3	12(0.21)
1991	5,677	3,354	2,323	90.1	103.8	75.7	7(0.12)
1992	5,544	3,250	2,294	89.9	102.8	76.4	2(0.04)
1993	5,389	3,155	2,234	89.1	101.6	75.9	11(0.20)
1994	6,069	3,574	2,495	101.1	115.9	85.4	2(0.03)
1995	6,107	3,548	2,559	102.6	116.4	88.2	6(0.09)
1996	6,424	3,691	2,733	108.4	121.6	94.6	4(0.06)
1997	6,373	3,690	2,683	108.0	122.0	93.2	9(0.14)
1998	6,593	3,799	2,794	111.7	125.6	97.0	2(0.03)
計	153,803	89,272	64,531	—	—	—	426(0.28)

* 罹患率の計算には人口動態統計の分母に用いる日本人人口（5年ごとの国勢調査人口および各年次の推計人口で、人口動態統計に掲載されているもの。ただし、1998年は1997年の推計人口）を用いた。

[表3] 年齢別、年次別、性別患者数

	患 者 数								
	総 数			1997年			1998年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総 数	12,966	7,489	5,477	6,373	3,690	2,683	6,593	3,799	2,794
0-5月	1,571	918	653	781	468	313	790	450	340
6-11月	2,224	1,379	845	1,104	693	411	1,120	686	434
1歳	3,327	1,981	1,346	1,585	948	637	1,742	1,033	709
2歳	2,049	1,104	945	1,045	569	476	1,004	535	469
3歳	1,405	765	640	706	380	326	699	385	314
4歳	1,030	571	459	497	280	217	533	291	242
5歳	647	358	289	308	163	145	339	195	144
6歳	324	177	147	142	66	76	182	111	71
7歳	173	98	75	100	55	45	73	43	30
8歳	89	48	41	43	20	23	46	28	18
9歳	43	24	19	19	14	5	24	10	14
10歳-	76	58	18	37	28	9	39	30	9
不明	8	8	0	6	6	0	2	2	0

[表4] 患者住所都道府県別、年次別、性別患者数

	患 者 数								
	総 数			1997年			1998年		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
総 数	12,966	7,489	5,477	6,373	3,690	2,683	6,593	3,799	2,794
1 北海道	510	289	221	263	150	113	247	139	108
2 青森	130	81	49	60	36	24	70	45	25
3 岩手	126	69	57	57	32	25	69	37	32
4 宮城	182	105	77	88	49	39	94	56	38
5 秋田	66	40	26	26	14	12	40	26	14
6 山形	132	83	49	64	38	26	68	45	23
7 福島	159	96	63	78	50	28	81	46	35
8 茨城	289	154	135	123	68	55	166	86	80
9 栃木	228	142	86	100	67	33	128	75	53
10 群馬	252	152	100	118	68	50	134	84	50
11 埼玉	576	323	253	290	168	122	286	155	131
12 千葉	645	360	285	322	169	153	323	191	132
13 東京都	1,327	748	579	646	385	261	681	363	318
14 神奈川県	979	575	404	466	258	208	513	317	196
15 新潟	201	117	84	101	59	42	100	58	42
16 富山	81	41	40	42	24	18	39	17	22
17 石川	128	73	55	59	31	28	69	42	27
18 福井	84	43	41	44	21	23	40	22	18
19 山梨	76	50	26	43	27	16	33	23	10
20 長野	241	130	111	128	67	61	113	63	50
21 岐阜	216	119	97	100	57	43	116	62	54
22 静岡県	414	237	177	212	121	91	202	116	86
23 愛知県	636	365	271	327	184	143	309	181	128
24 三重	150	95	55	78	51	27	72	44	28
25 滋賀	175	97	78	78	46	32	97	51	46
26 京都	286	173	113	139	78	61	147	95	52
27 大阪	883	535	348	421	264	157	462	271	191
28 兵庫県	728	430	298	363	224	139	365	206	159
29 奈良	121	77	44	58	33	25	63	44	19
30 和歌山	149	95	54	76	46	30	73	49	24
31 鳥取	54	27	27	21	10	11	33	17	16
32 島根	72	46	26	38	23	15	34	23	11
33 岡山	173	87	86	105	54	51	68	33	35
34 広島	283	156	127	148	89	59	135	67	68
35 山口	164	96	68	87	53	34	77	43	34
36 徳島	102	56	46	45	24	21	57	32	25
37 香川	113	61	52	55	33	22	58	28	30
38 愛媛	144	95	49	69	41	28	75	54	21
39 高知	78	45	33	34	18	16	44	27	17
40 福岡	628	355	273	286	163	123	342	192	150
41 佐賀	87	56	31	39	24	15	48	32	16
42 長崎	162	98	64	87	54	33	75	44	31
43 熊本	185	113	72	98	56	42	87	57	30
44 大分	124	70	54	62	34	28	62	36	26
45 宮崎	112	58	54	69	35	34	43	23	20
46 鹿児島	111	64	47	54	31	23	57	33	24
47 沖縄	60	34	26	36	20	16	24	14	10
48 国外	1	1	0	1	1	0	0	0	0
49 不明	143	77	66	69	42	27	74	35	39

[表5] 都道府県別、年次別罹患率

年次 県名	1993	1994	1995	1996	1997	1998
全 国	89.1	101.1	102.6	108.4	108.0	111.7
1 北海道	94.6	103.8	102.3	92.7	101.2	95.0
2 青森	95.8	102.8	106.9	105.6	83.3	97.2
3 岩手	34.8	63.8	59.4	94.2	82.6	100.0
4 宮城	98.2	115.9	69.0	82.3	77.9	83.2
5 秋田	88.7	94.3	62.3	79.2	49.1	75.5
6 山形	58.3	76.7	116.7	126.7	106.7	113.3
7 福島	46.8	73.0	45.0	55.9	70.3	73.0
8 茨城	87.7	96.6	80.8	78.1	84.2	113.7
9 栃木	120.6	120.6	118.6	107.2	103.1	132.0
10 群馬	81.8	108.1	105.1	107.1	119.2	135.4
11 埼玉	67.3	91.2	95.3	96.8	85.5	84.4
12 千葉	104.0	132.2	136.3	126.0	117.9	118.3
13 東京	114.7	128.0	140.8	141.7	138.0	145.5
14 神奈川	88.0	94.9	126.0	119.9	118.9	130.9
15 新潟	79.7	113.6	89.8	83.9	85.6	84.7
16 富山	132.0	118.0	90.0	82.0	84.0	78.0
17 石川	133.3	119.3	126.3	138.6	103.5	121.1
18 福井	78.6	131.0	71.4	123.8	104.8	95.2
19 山梨	51.1	126.7	86.7	95.6	95.6	73.3
20 長野	80.6	110.2	116.7	113.9	118.5	104.6
21 岐阜	49.5	80.6	81.6	88.3	97.1	112.6
22 静岡	85.8	104.4	82.5	107.7	115.8	110.4
23 愛知	90.7	83.1	93.8	83.1	92.4	87.3
24 三重	108.9	111.1	83.3	95.6	86.7	80.0
25 滋賀	53.6	84.1	85.5	85.5	113.0	140.6
26 京都	100.0	131.6	113.7	128.2	118.8	125.6
27 大阪	84.3	91.4	96.0	114.0	100.2	110.0
28 兵庫	109.2	107.3	105.0	114.9	138.6	139.3
29 奈良	97.1	104.4	79.4	85.3	85.3	92.6
30 和歌山	88.2	154.9	141.2	180.4	149.0	143.1
31 鳥取	83.3	63.3	140.0	136.7	70.0	110.0
32 島根	50.0	72.2	83.3	111.1	105.6	94.4
33 岡山	66.7	65.6	78.5	100.0	112.9	73.1
34 広島	110.0	102.9	108.6	132.9	105.7	96.4
35 山口	89.7	94.1	97.1	125.0	127.9	113.2
36 徳島	121.6	81.1	170.3	127.0	121.6	154.1
37 香川	112.8	125.5	104.3	104.3	117.0	123.4
38 愛媛	118.3	131.0	93.0	95.8	97.2	105.6
39 高知	94.4	75.0	66.7	111.1	94.4	122.2
40 福岡	107.6	104.2	132.9	132.9	120.7	144.3
41 佐賀	60.9	115.2	69.6	89.1	84.8	104.3
42 長崎	97.5	88.6	91.1	101.3	110.1	94.9
43 熊本	88.0	96.7	95.7	100.0	106.5	94.6
44 大分	86.2	100.0	96.6	113.8	106.9	106.9
45 宮崎	70.0	60.0	76.7	83.3	115.0	71.7
46 鹿児島	80.0	82.2	56.7	73.3	60.0	63.3
47 沖縄	27.9	26.7	26.7	37.2	41.9	27.9

* 都道府県別罹患率は1995年の国勢調査人口を用いて計算した。
 全国の罹患率は各年次の推計人口を用いて計算した。(ただし1998年は前年の推計人口を使用)
 現住所不明のものは計算から除外した。

[表6] 性別、年齢別死亡例の割合

総数		総数	死亡例	(%)
		12,966	11	0.08
性別	男	7,489	10	0.13
	女	5,477	1	0.02
年齢別	0~11か月	3,789	6	0.16
	12~23か月	3,325	2	0.06
	2歳~4歳	4,481	3	0.07
	5歳以上	1,352	—	—
	不明	8	—	—

[表7] ガンマグロブリン1日投与量 (mg/kg) 別、投与期間の分布

	総数	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日-	不明
総数	10,893	1,726	940	1,125	525	6,192	66	36	27	10	30	216
-100mg/kg	19	5	4	7	1	2	0	0	0	0	0	0
-200mg/kg	1,050	19	20	80	34	876	5	2	2	0	2	10
-300mg/kg	1,078	6	15	103	114	792	15	6	4	2	5	16
-400mg/kg	5,323	39	63	700	229	4,106	34	21	17	8	22	84
-500mg/kg	679	14	70	120	97	347	5	6	4	0	1	15
-600mg/kg	101	3	22	24	22	27	2	0	0	0	0	1
-700mg/kg	51	1	4	33	3	7	3	0	0	0	0	0
-800mg/kg	35	1	13	9	4	7	1	0	0	0	0	0
-900mg/kg	34	14	15	3	1	1	0	0	0	0	0	0
-1000mg/kg	1,519	757	684	31	15	8	0	1	0	0	0	23
1000mg/kg+	946	866	30	11	4	12	0	0	0	0	0	23
不明	58	1	0	4	1	7	1	0	0	0	0	44

* ガンマグロブリン使用例10,893人を集計

図1 年次別、性別患者数

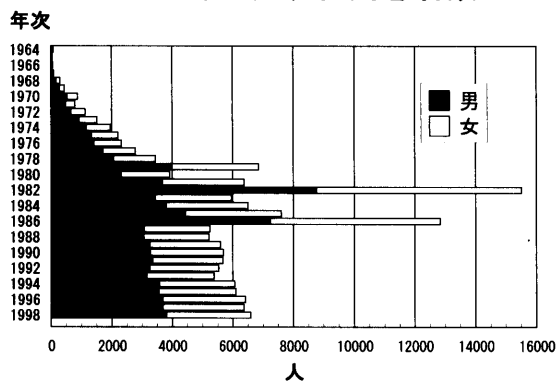


図2 年次別、性別罹患率

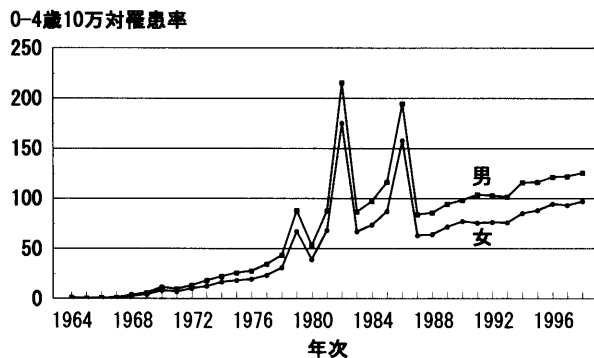


図3 月別、性別患者数

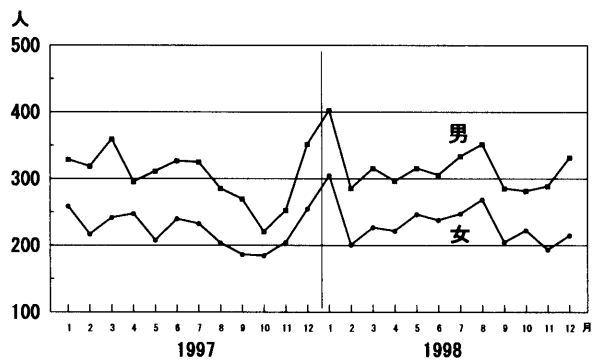


図4 性別、年齢別罹患率

1997年、98年平均

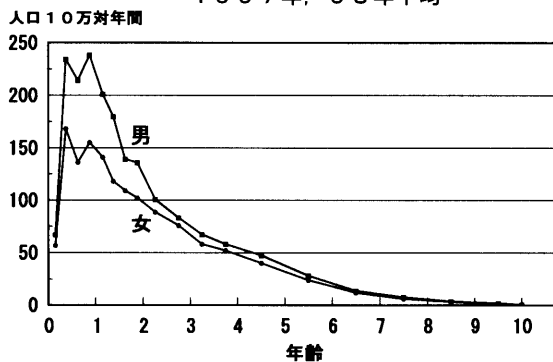


図5 都道府県別罹患率

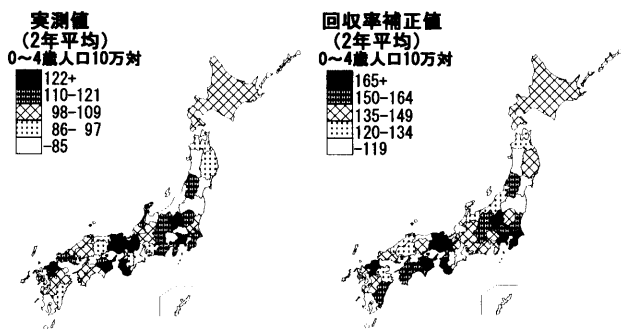


図5 都道府県別罹患率 (つづき)

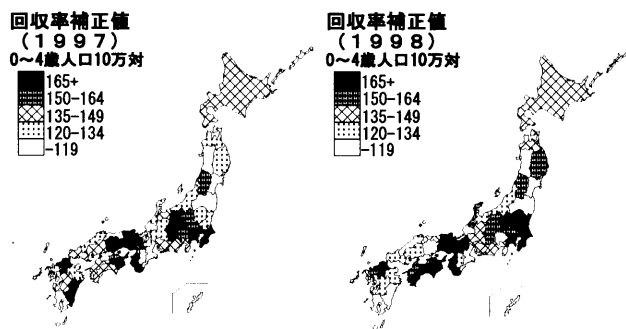
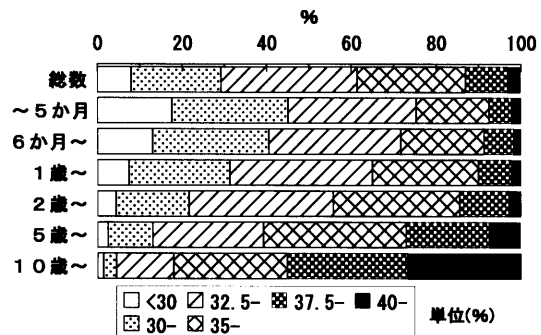
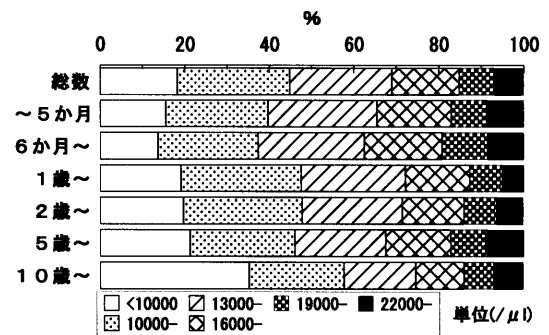


図6 年齢別ヘマトクリット値の分布



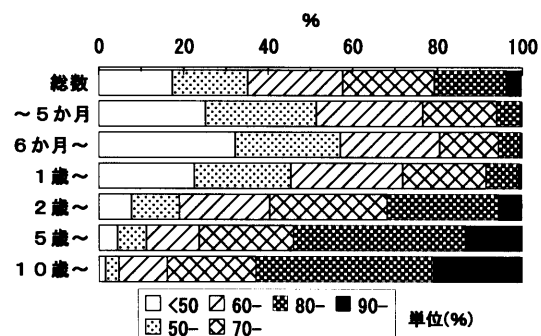
*ヘマトクリット検査値ありの者12,068人を集計

図7 年齢別白血球数の分布



*白血球検査値ありの者12,633人を集計

図8 年齢別好中球%の分布



*好中球検査値ありの者10,849人を集計

図9 性別、年齢別同胞例ありの割合

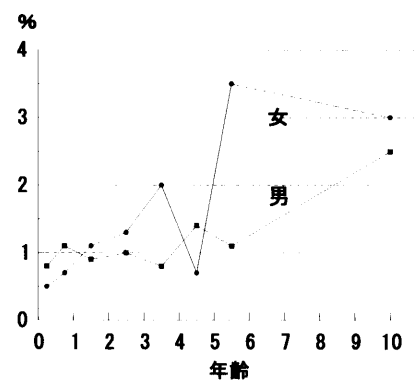


図10 性別、年齢別再発例の割合

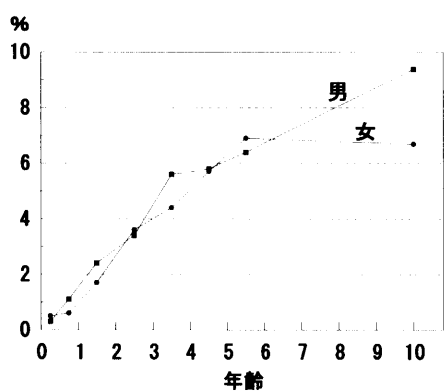


図11 性別、年齢別心障害(急性期)の出現率

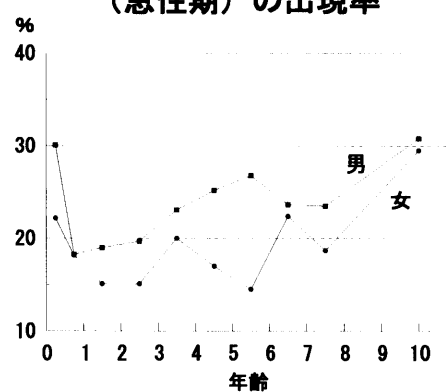


図 1 2 性別、種類別心障害
(急性期) の出現率

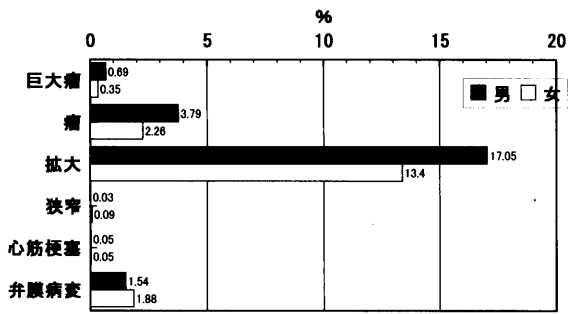


図 1 3 年齢別、種類別心障害
(急性期) の出現率

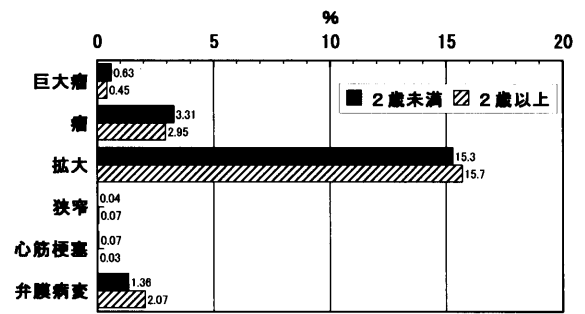


図 1 4 性別、年齢別心障害
(後遺症) の出現率

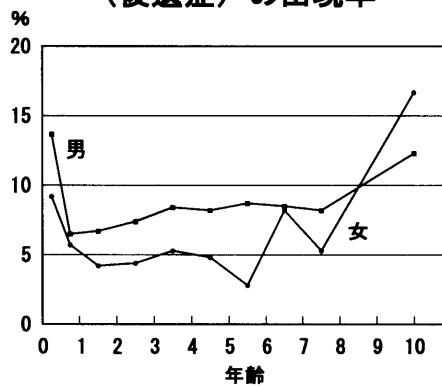


図 1 5 性別、種類別心障害
(後遺症) の出現率

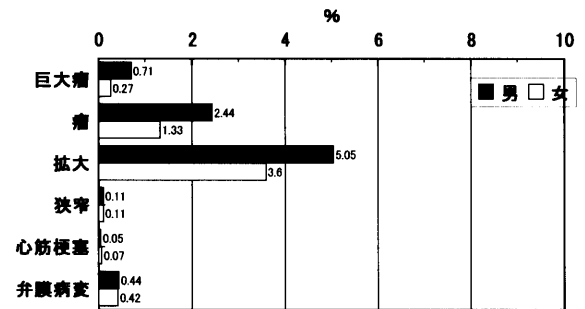


図 1 6 年齢別、種類別心障害
(後遺症) の出現率

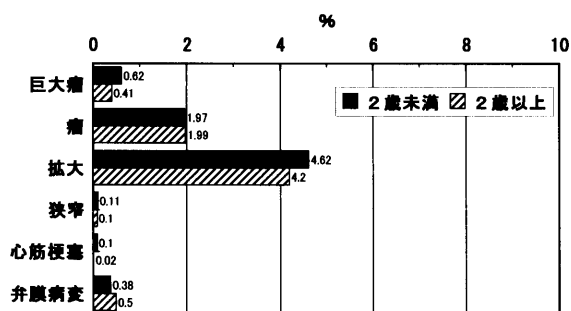


図 1 7 年齢別、初診時病日の分布

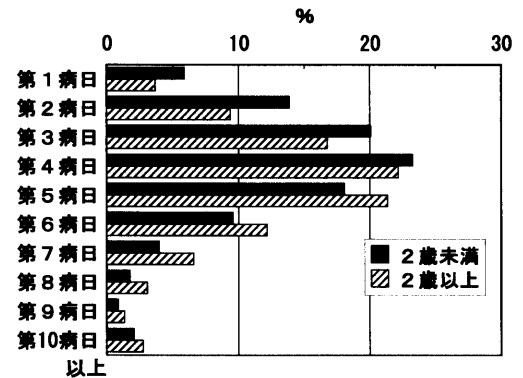
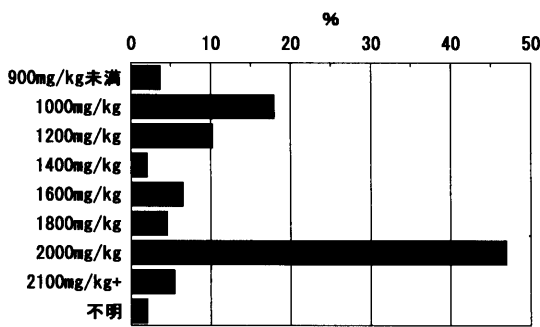
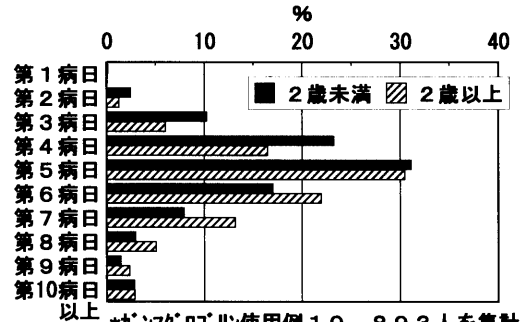


図18 ガンマグロリン使用総量の分布



*ガンマグロリン使用例10,893人を集計
各区分く±100mg/kgを含む

図19 年齢別、ガンマグロリン投与開始日の分布



*ガンマグロリン使用例10,893人を集計
(開始日不明114人を除く)

文献

- 1) 小児MCLS研究班(班長:神前章雄). 小児MCLS全国調査成績, 昭和45年度予備調査成績と昭和46年度個人調査成績の概要. 1971.
- 2) 重松逸造, 柳川洋. いわゆる川崎病について. 日本公衛誌 1975;22(6):306-312.
- 3) 柳川洋. 川崎病の実態. 公衆衛生情報 1975;5(12):22-29.
- 4) 柳川洋. 川崎病の疫学. 日本臨床 1976;34(2):275-283.
- 5) 川崎病研究班. 最近(1977-78年)におけるMCLS(川崎病)の実態, 一第5回全国調査結果の速報-. 小児科 1979;20(7):755-757.
- 6) 川崎病研究班. MCLS(川崎病の多発)一第6回全国調査成績の速報-. 小児科 1981;22(1):53-58.
- 7) 川崎病研究班. 最近(1981年1月-82年6月)におけるMCLS(川崎病)の実態, 一第7回全国調査成績の速報-. 小児科 1983;24(1):53-58.
- 8) 厚生省川崎病研究班. 第8回川崎病全国調査成績. 小児科 1985;26(9):1049-1053.
- 9) 厚生省川崎病研究班. 第9回川崎病全国調査成績. 小児科 1987;28(9):1059-1066.
- 10) 厚生省川崎病研究班. 第10回川崎病全国調査成績. 小児科 1990;31(5):569-576.
- 11) 厚生省川崎病研究班. 第11回川崎病全国調査成績. 小児科 1992;33(3):309-316.
- 12) 厚生省川崎病研究班. 第12回川崎病全国調査成績. 小児科 1994;35(1):61-73.
- 13) 厚生省川崎病研究班. 第13回川崎病全国調査成績. 小児科 1996;37(4):363-383.
- 14) 厚生省川崎病研究班. 第14回川崎病全国調査成績. 小児科診療 1998;61(3):406-420.
- 15) 柳川洋. 川崎病の全国調査成績. 川崎病疫学データのすべて(日本心臓財団川崎病原因究明委員会編). 東京:ソフトサイエンス社, 1986;37-51.
- 16) 柳川洋, 屋代真弓, 藤田委由. 川崎病の全国調査成績. 川崎病(川崎富作, 重松逸造, 濱島義博, 柳川洋, 加藤裕久編). 東京:南江堂, 1988;18-31.
- 17) Kawasaki T, Kosaki F, Okawa S, Shigematsu I, Yanagawa H. A new infantile acute febrile mucocutaneous lymph node syndrome (MLNS) prevailing in Japan. Pediatrics 1974; 54:271-276.
- 18) Yanagawa H, Kawasaki T, Shigematsu I. Nationwide survey on Kawasaki disease in Japan. Pediatrics 1987;80:58-62.
- 19) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Fujita Y, Nagai M, Kawasaki T, Aso S, Imada Y, Shigematsu I. A nationwide survey of Kawasaki disease in 1985-1986 in Japan. J Infect Dis 1988;158(6):1296-1301.
- 20) Yanagawa H, Yashiro M, Nakamura Y, Kawasaki T, Kato H. Epidemiologic pictures of Kawasaki disease in Japan: From the nationwide survey in 1991 and 1992. Pediatrics 1995;95(4):475-479.
- 21) Yanagawa H, Yashiro M, Nakamura Y, Kawasaki T, Kato H. Results of 12 nationwide epidemiological incidence surveys of Kawasaki disease in Japan. Arch Pediatr Adolesc Med 1995;149:779-783.
- 22) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Ojima T, Koyanagi H, Kawasaki T. Update of the epidemiology of Kawasaki disease in Japan, From the results of 1993-94 nationwide survey. J Epidemiol 1996;6(3):148-157.
- 23) Yanagawa H, Nakamura Y, Yashiro M, Ojima T, Tanihara S, Oki I, Zhang T. Results of the nationwide epidemiologic survey of Kawasaki disease in 1995 and 1996 in Japan. Pediatrics 102(6), Electronic version e65.

川崎病調査票 (第15回全国調査)

お願い

- 平成9年1月1日～平成10年12月31日の2年間に発症し、施設に受診した患者全員について記入して下さい。
- 症例がない場合も本調査票のQ1.「施設に関する質問」をご記入の上、必ずご返送下さい。
- 他施設へ紹介した患者、他施設から紹介された患者も含めます。

主治医(代表者)ご芳名
↓NO. は記入しないで下さい

発病時患者住所

1998.12 厚生省川崎病のサーベイランスとその治療法に関する研究班作成

ガンマグロブリン投与
(貴院分)
投与ありの場合

診断の
確実度

今日の
発症

検査所見
(初診時)

同胞例

心 障 害

死亡

NO.	ふりがな 患者氏名	性別	生年月日	初診年月日	初診時 病日	診断の 確実度	ガンマグロブリン投与 (貴院分) 投与ありの場合		今日の 発症	検査所見 (初診時)	同胞例	心 障 害		死亡
							1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	投与開始 病日 1H _____mg/kg×____H 追加投与 1なし 2あり				急性期(1カ月以内)	後遺症(1カ月以降)	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	
	〒.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	____病日	1 確実 A 2 確実 B 3 容疑	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 初発 2 再発	1 なし 2 あり	1 なし 2 あり	1 なし 2 巨大瘤 3 瘤 4 拡大 5 狭窄 6 心筋梗塞 7 弁膜病変	1 なし 2 あり	

Q1. 施設に関する質問 (本調査票を2枚以上使用の場合は1枚目にご記入下さい)

- 貴院のベッド数はいくつですか。 貴院で川崎病患者に使用するガンマグロブリン製剤の商品名(主なもの種類)は何ですか。
- 貴院の小児科医は何人ですか。 常勤小児科医____人 非常勤小児科医____人
- 貴院では川崎病患者に対して使用するガンマグロブリンの基本的な投与方式を決めていますか。 (____mg/kg×____日間)
- 貴院では川崎病患者全員にガンマグロブリンを投与しますか。 1 全員 2 一部の患者

Q2. 死亡例に関する質問 (今回の報告のみでなく、前回生存として報告され、後に死亡した例も含めて記入して下さい)

氏名(ふりがな)	性別	生年月日	川崎病初診年月日	死亡年月日	剖検の有無	死亡原因等
.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	1 なし 2 あり
.....	1 男 2 女	昭・平____年____月____日	昭・平____年____月____日	平成____年____月____日	1 なし 2 あり

住所、電話番号の誤りは朱書にてご訂正下さい。 P.

〒329-0498
栃木県南河内郡南河内町薬師寺3311-1
自治医科大学公衆衛生学教室気付
川崎病研究班疫学調査事務局
(0285-44-6192, 0285-58-7338)

返送先

第15回全国調査協力施設名 (都道府県別、順不同)

1：北海道

国立療養所西札幌病院
国立函館病院
国立療養所道北病院
北大医学部附属病院
札幌鉄道病院
NTT札幌病院
札幌医科大学附属総合病院
道立札幌肢体不自由児総合療育センター
道立旭川肢体不自由児総合療育センター
道立紋別病院
道立羽幌病院
市立札幌病院
市立函館病院
千歳市立総合病院
市立三笠総合病院
国民健康保険町立栗沢病院
岩見沢市立総合病院
市立美瑛病院
町立長沼病院
歌志内市立病院
砂川市立病院
市立赤平総合病院
市立芦別病院
深川市立総合病院
市立旭川病院
美瑛町立病院
名寄市立総合病院
北檜山町立国民健保病院
市立室蘭総合病院
苫小牧市立総合病院
白老町立国民健保病院
町立芽室病院
美幌町立国民健保病院
市立稚内病院
栗山赤十字病院
伊達赤十字病院
浦河赤十字病院
清水赤十字病院
総合病院釧路赤十字病院
社会事業協会・余市病院
岩内協会病院
厚生連総合病院札幌厚生病院
厚生連沼田厚生病院
厚生連総合病院旭川厚生病院
厚生連総合病院網走厚生病院
厚生連総合病院遠軽厚生病院
北海道社会保険中央病院
国家公務員共済組合連合会斗南病院
(医療) 太田病院
(医療) 同仁会 佐々木病院
様似医院
夕張市立総合病院
新日鉄室蘭総合病院
函館五稜郭病院
函館中央病院
共愛会病院
天使病院
(社福) 根室隣保院附属病院
幌東病院
遠軽中央病院
大原病院
札幌社会保険総合病院
国立療養所小樽病院
曾我病院
五輪橋産科婦人科小児科病院
ふかさわ病院
育愛会札幌東豊病院
愛生マタニティクリニック
静仁会静内病院
慶愛病院
町立松前病院
国立療養所帯広病院
自衛隊札幌病院
木古内町国民健康保険病院
国家公務員共済組合連合会幌南病院
(医療) 富田病院
北海道立江差病院
今金町国保病院
本別町国民健康保険病院
北海道社会事業協会・洞爺病院
旭川医科大学医学部附属病院
(財) 小児愛育協会附属愛育病院
北海道療育園
(医社) 友愛会恵愛病院 精神科
(医療) 使徒ルカ会手稲ルカ病院
道立小児総合保健センター
愛静病院
美瑛労災病院
新雨竜第一病院

道北勤医協 一条クリニック
(医社) 上田病院
恵庭第一病院
市立土別総合病院
八雲総合病院
勤医協札幌北区病院
札幌マタニティホスピタル
新川病院
医療法人徳洲会札幌東徳洲会病院
医療法人徳洲会札幌徳洲会病院
医療法人社団信佑会 吉田病院
勤医協札幌西区病院
手稲溪仁会病院
(医療法人) 道南勤医協函館稜北病院
(医療法人) 北農会恵み野病院
豊岡中央病院
釧路市医師会病院
シロアムマタニティクリニック
斜里町国民健康保険病院

2：青森県

国立弘前病院
弘前大学医学部附属病院
青森県立中央病院
青森市民病院
八戸市立市民病院
国民健康保険五戸総合病院
黒石市国保黒石病院
浪岡町立病院
国民健康保険鶴岡町立中央病院
公立野辺地病院
公立七戸病院
むつ総合病院
国保三戸中央病院
八戸赤十字病院
鳴海病院
町立大鱈病院
青森県立はまなす学園
市立三沢病院
(医療) 慈仁会 尾野病院
(医療) 誠仁会 尾野病院
弘前市立病院
弘前中央病院
青森労災病院
国立療養所岩木病院
津軽保健生活協同組合健生病院
シルバー病院
美保野病院
医療法人赤心会十和田東病院
医療法人正恵会石田温泉病院

3：岩手県

岩手県立釜石病院
岩手県立宮古病院
岩手県立花巻厚生病院
岩手県立胆沢病院
岩手県立高田病院
岩手県立大船渡病院
岩手県立軽米病院
岩手県立江刺病院
盛岡市立病院
釜石市民病院
盛岡赤十字病院
北上済生会病院
(財) 総合花巻病院
一関病院
岩手医科大学附属病院
もりおかこども病院
盛岡友愛病院
宝陽病院
盛岡繁温泉病院
国立療養所盛岡病院
岩手県立山田病院
岩手県立北上病院
内丸病院
川久保病院
国保葛巻病院
国療南花巻病院
岩手県立遠野病院

4：宮城県

国療宮城病院
東北大学医学部附属病院
仙台通信病院
仙台市立病院
塩釜市立病院
公立気仙沼総合病院
公立刈田総合病院
町立大河原病院
丸森町国保丸森病院

公立黒川病院
若柳町国保病院
公立佐沼総合病院
総合病院仙台赤十字病院
東北厚生年金病院
東北公済病院
仙台厚生病院
(財) 宮城厚生協会坂総合病院
(医療) 本多友愛会仙南病院
岩切病院
南東北病院
東北大学加齢医学研究所附属病院
真壁病院
公立登米病院
仙台社保病院
宮城健康保健病院
光ヶ丘スペルマン病院
東北労災病院
自衛隊仙台病院
(財) 片倉病院
仙台オープン病院
(財) 宮城厚生協会 長町病院
松涛会南浜中央病院
宮城県拓桃医療療育センター
医療法人徳洲会仙台徳洲会病院
社都中央病院
中嶋病院
財団法人宮城厚生協会 古川民主病院
公立米谷病院

5：秋田県

大館市立総合病院
比内町立扇田病院
男鹿みなと市民病院
公立角館総合病院
秋田赤十字病院
鹿角組合総合病院
山本組合総合病院
湖東総合病院
平鹿総合病院
雄勝中央病院
(医療) 愛生会 石田病院
中通総合病院
土崎病院
外旭川病院
医療法人青嵐会本荘第一病院
佐藤病院
秋田社会保健病院
大曲中通病院
公立米内沢総合病院
秋田大学医学部附属病院
秋田県太平療育園
北秋中央病院
国療秋田病院

6：山形県

山形県立中央病院
山形県立新庄病院
山形市立病院済生館
市立酒田病院
鶴岡市立荘内病院
長井市立総合病院
米沢市立病院
(医療) 篠田好生会 篠田総合病院
寒河江市立病院
県立日本海病院
山形県立河北病院
国立療養所米沢病院
山形大学医学部附属病院
鶴岡協立病院
順仁堂遊佐病院
国療山形病院
医療法人産婦人科小児科三井病院
医療法人舟山病院

7：福島県

国立郡山病院
福島県立医科大学附属病院
福島県立三春病院
福島県立津総合病院
公立岩瀬病院
公立小野町地方総合病院
いわき市立総合磐城共立病院
いわき市立常磐病院
総合病院福島赤十字病院
済生会 福島総合病院
白河厚生総合病院
塙厚生病院
高田厚生病院
坂下厚生総合病院

(財) 太田総合病院附属太田熱海病院
(財) 寿泉堂総合病院
(財) 穴沢病院
(財) 竹林病院
福島整肢療護園
(財) 大原総合病院 附属大原医療センター
医療法人朋友会しのぶ病院
(財) 脳神経疾患研究所 附属南東北病院
総合会津中央病院
新生会内科小児科佐藤病院
小高町立病院
県立南会津病院
国療福島病院
総合保原中央病院
(財) 星総合病院
(財) 松村総合病院
(医療) 保科病院
(医療) 土屋病院
(社医) 貝羽総合病院
医療法人慈久会 谷病院
済生会川俣病院
(財) 会田病院
国立療養所翠ヶ丘病院
中村病院
医療生協わたり病院
医療法人昨雲会飯塚病院附属有隣病院
医療法人松尾会松尾病院
福島県心身障害児 総合療育センター
医療法人明信会今泉西病院
公立相馬総合病院

8：茨城県

国立水戸病院
国立霞ヶ浦病院
茨城県立こども福祉医療センター
水戸済生会総合病院
社会福祉法人恩賜財団 済生会波崎済生病院
総合病院水戸協同病院
国公共済連水府病院
総合病院東京医科大学 霞ヶ浦病院
日鉾記念病院
株式会社日立製作所多賀総合病院
根本産婦人科医院
石岡第一病院
つくばセントラル病院
医療法人慈愛会秋葉産婦人科小児科病院
県立こども病院
那珂中央病院
ひたちなか母子の病院
桜水会筑波病院
双葉会つくば双葉病院
戸頭医院
県西総合病院
(医療) 愛直会 奏病院
株式会社日立製作所日立総合病院
(財) 鹿島病院
筑波大学附属病院
茨城県立コロニーあすなろ病院
(医療) 住吉クリニック病院
(医療) 仁愛会 茅根病院
(医療) 愛正会 田尻ヶ丘病院
悼慈会日立港病院
(医療) 常仁会牛久愛和総合病院
(財) 筑波学園病院
友愛記念病院
北茨城市立総合病院
総合病院取手協同病院
石岡市医師会病院
財団法人筑波メディカルセンター病院
医療法人筑波記念病院
きぬ医師会病院
医療法人修徳会植竹病院
慶友会守谷慶友病院
茨城西南医療センター病院
国立療養所晴嵐荘病院

9：栃木県

国立栃木病院
小山市民病院
栃木県南総合病院
大田原赤十字病院
済生会 宇都宮病院
上都賀総合病院
下都賀総合病院
下橋総合病院
塩谷総合病院
佐野厚生総合病院
宇都宮社会保険病院
古河記念病院
那須野が原普問病院
国療東宇都宮病院
皆藤病院
福田記念病院

真岡病院
矢板南病院
光南病院
国療足利病院
自治医科大学附属病院
獨協医科大学病院 小児科(内分泌・血液)
黒須病院
今井病院
菅又病院
(医療) 慈啓会 白澤病院
栃木県身体障害医療福祉センター
西方病院
とちの木病院

10：群馬県

国立高崎病院
国立沼田病院
国立渋川病院
群馬大学医学部附属病院
群馬県立がんセンター東毛病院
桐生厚生総合病院
藤岡総合病院
碓氷病院
伊勢崎市民病院
館林厚生病院
前橋赤十字病院
原町赤十字病院
社保群馬中央総合病院
富士重工工業健康保険組合総合太田病院
(医療) 鶴谷会 鶴谷病院
上毛泌尿器科記念善衆会病院
医療法人樹心会角田病院
本島総合病院
県立小児医療センター
群馬県済生会 前橋病院
(医療) 慈光会 慈光会病院
重症心身障害児施設はんさわらび療育園
高木病院
(医社) 三思会 東邦病院
希望の家療育病院
国療西群馬病院
榛名荘病院
群馬整肢療護園
高崎中央病院
太田福島総合病院
北毛保健生活協同組合北毛病院
下仁田厚生病院

11：埼玉県

国立西埼玉中央病院
蕨市立病院
国保町立小鹿野中央病院
春日部市立病院
草加市立病院
大宮赤十字病院
総合病院小川赤十字病院
埼玉厚生農協連熊谷総合病院
社保大宮総合病院
川口工業総合病院
(財) 鳩ヶ谷中央病院
(医社) 東光会戸田中央総合病院
(医療) 健仁会 益子病院
(医療) ヘブロン会 大宮中央総合病院
愛生会病院
丸山記念総合病院
聖蹟会桶川 坂田病院
医療法人宮崎病院
医療法人 熊谷福島病院
クリニック病院
川口市立医療センター
へリオス会病院
聖心会南古谷病院
秩父市立病院
本庄総合病院
土屋小児病院
清水病院
飯能中央病院
浦和市立病院
国療東埼玉病院
埼玉厚生連幸手総合病院
(医社) 協友会 吉川中央病院
朝霞台中央総合病院
(医社) 協友会八潮中央総合病院
防衛医科大学校病院
(医療) 聖仁会 西部総合病院
(医社) 東光会 戸田中央産院
(医療) あかつき会 はとがや病院
埼玉協同病院
大宮市医師会 市民病院
浅野病院
(医療) 菅野総合病院
(医療) 福寿会 埼玉回生病院
(医療) 関越病院

(医療) 誠壽会 上福岡総合病院
(医療) 仁愛会 東埼玉総合病院
秋谷病院
医療法人社団協友会東川口病院
独協医科大学越谷病院
東鷲宮病院
医療法人財団健和会みさと健和病院
埼玉筑波病院
医療法人赤心堂病院
埼玉医科大学総合医療センター
帯津三敬病院
関本記念病院
東松山市立市民病院
医療法人社団哺育会白岡中央病院
医療法人光仁会春日部東部クリニック
小林病院
医療法人明晴会西武入間病院
至聖病院

12：千葉県

国立千葉病院
国立精神・神経センター国府台病院
国療下志津病院
国立習志野病院
千葉大学医学部附属病院
千葉県立佐原病院
千葉県立東金病院
千葉県循環器病センター
千葉市立病院
浦安市市川市病院組合 浦安市川市民病院
国保松戸市立病院
銚子市立総合病院
総合病院国保旭中央病院
国保八日市場市民総合病院
公立長生病院
成田赤十字病院
済生会船橋済生病院
社保船橋中央病院
川崎製鉄健保組合千葉病院
(医療) 鉄蕉会 亀田総合病院
東京歯科大学市川総合病院
キッコーマン総合病院
みつわ総合病院
(財) 化学療法研究会化学療法研究所附属病院
千葉西病院
医療法人社団圭春会小張総合病院
東京都立成東児童保健院
平和台病院
柏陽光病院
千葉県こども病院
東邦大学医学部附属佐倉病院
さつき会袖ヶ浦さつき台病院
野田病院
佐倉中央病院
国保小見川総合病院
国療千葉東病院
千葉社会保険病院
(医療) 鳳生会 藤立病院
医療法人社団聖仁会我孫子聖仁会病院
千葉県千葉リハビリテーションセンター
市川東病院
(医財) 明理会新松戸中央総合病院
(医社) 東光会 北総白井病院
(医療) 三矢会 両総病院
(医社) 上総会 山之内病院
千葉労災病院
(医法) 成春会 北習志野花輪病院
(医社) 勤労者医協 船橋二和病院
東邦鎌谷病院
(医社) 協友会 船橋病院
(医社) 協友会 柏厚生病院
千葉市立海浜病院
順天堂大学医学部附属 順天堂浦安病院
新八柱台病院
医療法人川崎病院
船橋市立医療センター
(医社) 愛友会 流山病院
医療法人社団誠会小金原病院
医療法人三矢会八街総合病院
大栄病院
帝京大学医学部附属市原病院
医療法人新都市医療研究会君津会玄々堂君津病院
東京慈恵会医科大学附属柏病院
医療法人社団 恵仁会 セントマークレット病院
(医療) 思誠会 勝田台病院

13：東京都

国立がんセンター中央病院
国立国際医療センター
国立小児病院
国立大蔵病院

国立病院東京医療センター 小児科
東京大学病院
東京医科歯科大学病院
東京専売病院
関東通信病院
J R 東京総合病院
自衛隊中央病院
大蔵省印刷局東京病院
都立駒込病院
都立墨東病院
都立荏原病院
都立広尾病院
東京都立大塚病院
都立北療育医療センター
都立豊島病院
都立清瀬小児病院
青梅市立総合病院
日野市立総合病院
稲城市立病院
町田市民病院
公立昭和病院
総合病院大森赤十字病院
日本赤十字社医療センター
葛飾赤十字産院
武蔵野赤十字病院
東京都済生会中央病院
社保中央総合病院
社保蒲田総合病院
東京厚生年金病院
東京船員保険病院
虎の門病院
総合病院三宿病院
東京共済病院
東京警察病院
三楽病院
聖路加国際病院
北里研究所病院
永寿総合病院
(財)日産厚生会 玉川病院
練馬総合病院
(財)天誠会 武蔵境病院
緑成会病院
(医財)寿康会病院
(医社)江東病院
(医社)松井病院
田園調布中央病院
(医財)河北総合病院
(医社)関川診療所
(医社)同愛会病院
(医社)大坪会 北多摩病院
(医財)三鷹病院
杏林大学病院
日本大学駿河台病院
東京女子医科大学病院
慶応義塾大学病院
東京医科大学病院
日本医科大学病院
順天堂大学附属順天堂医院
昭和大学病院
東邦大学 大橋病院
東邦大学 大森病院
東京女子医科大学 第2病院
日本大学 附属板橋病院
慈恵医科大学 青戸病院
慈恵医科大学 附属病院第3病院
小平記念東京日立病院
三井記念病院
母子愛育会愛育病院
(社福)聖母会 聖母病院
浅草寺病院
(社福)賛育会 賛育会病院
同愛記念病院
(社福)あそか会 あそか病院
久我山病院
東京医療生協組合 中野総合病院
東京衛生病院
(社福)勝楽堂病院
(社福)仁生社 江戸川病院
(社福)慈生会 慈生会病院
(社福)日本心身障害者協会 島田療育センター
(社福)東京都同胞援護会昭島病院
(社福)鶴風会東京小児療育病院
南台病院
(医社)時正会 佐々総合病院
財団法人東京都保健医療公社東部地域病院
太陽こども病院
医療法人社団日心会総合病院一心病院
りんご会東十条病院
まつしま産婦人科小児科病院
小金井太陽病院
国立病院東京災害医療センター 小児科
吉川内科小児科病院

五葉会ファウンズ産婦人科病院
都立東大和療育センター
都立府中療育センター
東京都職員共済組合 青山病院
(医財)健康文化会 小豆沢病院
緑風荘病院
世田谷下田総合病院
敬愛病院
森本病院
公立阿伎留病院
都立府中病院
板橋区医師会病院
帝京大学医学部附属病院
レニア会 武谷病院
日本医科大学 多摩永山病院
博慈会記念総合病院
秋津療育園
都立八王子小児病院
東京健生病院
山田病院
(医社)瑞心会 西荻中央病院
(医社)板橋中央総合病院
(医社)水野病院
八王子山王病院
東京都立神経病院
(医社)共済会 櫻井病院
国立精神神経センター武蔵病院
医療法人社団健生会立川相互病院
医療法人社団誠和白鬚橋病院
東京労災病院
王子生協病院
心身障害児総合医療療育センター
日本大学医学部附属練馬光が丘病院
町田病院

14 : 神奈川県

国立横浜病院
国立横須賀病院
国療神奈川病院
神奈川県立厚木病院
神奈川県立足柄上病院
横浜市立港湾病院
横浜市立大学医学部附属浦舟病院
横浜市立市民病院
川崎市立川崎病院
平塚市民病院
茅ヶ崎市立病院
三浦市立病院
大和市立病院
津久井赤十字病院
(財)済生会 神奈川県病院
相模原協同病院
社保横浜中央病院
健保総合 川崎社会保険病院
横浜船員保険病院
住友重機械健保組合 浦賀病院
国公共済連横浜南共済病院
国公共済連 稲田登戸病院
(財)神奈川県聖友会 けいゆう病院
(医療)柏堤会 戸塚共立病院
総合川崎臨港病院
(医療)愛仁会 太田総合病院
(医社)亮正会総合高津中央病院
日本医科大学 附属第二病院
(株)日立製作所 戸塚総合病院
国際親善総合病院
(社福)湘南福祉協会総合病院湘南病院
総合相模更生病院
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院
中央林間病院
医療法人産育会堀病院
西横浜国際総合病院
医療法人大樹会佐藤病院
湘南鎌倉病院
横浜市愛児センター
石田産婦人科病院
相模原療育園
横浜労災病院
横浜市立大学医学部附属病院
三喜会横浜新緑病院
医誠会座間中央病院
愛育病院
国立横浜東病院
関東労災病院
横浜市小児アレルギーセンター
総合病院秦野赤十字病院
厚生農協連総合病院伊勢原協同病院
国公共済連 虎の門病院分院
(社団)日本厚生団 長津田厚生総合病院
藤沢市民病院
小澤病院
昭和大学 藤が丘病院
聖マリアンナ医科大学病院

東海大学病院
北里大学病院
帝京大学 溝口病院
神奈川リハビリテーション病院
済生会 横浜南南部病院
(医社)明芳会横浜旭中央総合病院
神奈川県衛生看護専門学校 附属病院
(医社)青葉会 牧野記念病院
(医療)誠医会 宮川病院
横須賀市立市民病院
相模原中央病院
南大和病院
(医療)徳洲会 大和徳洲会病院
桜ヶ丘中央病院
(医療)徳洲会 茅ヶ崎徳洲会総合病院
(医社)愛友会 金沢文庫病院
(医社)仁愛会 海老名総合病院
聖マリアンナ医科大学 横浜市西部病院
鶴ヶ峰病院
医療法人財団石心会川崎幸病院
新中川病院
国立小児病院二宮分院
医療法人社団三思会東名厚木病院
医療法人社団柏綾会綾瀬厚生病院

15 : 新潟県

国立高田病院
新潟県立ガンセンター新潟病院
新潟県立新発田病院
新潟県立小出病院
新潟県立十日町病院
水原郷病院
町立津南病院
総合病院長岡赤十字病院
済生会 三条病院
豊栄病院
長岡中央総合病院
栃尾郷病院
魚沼病院
上越総合病院
糸魚川総合病院
佐渡総合病院
小千谷総合病院
上村病院
済生会新潟第二病院
県立妙高病院
新潟市民病院
聖園病院
新潟南病院
木戸病院
新潟こぼり病院
南部郷総合病院
両津市民病院
新潟労災病院
新潟県はまぐみ小児療育センター
国民健康保険町立 ゆきぐに大和総合病院
新潟県立坂町病院
国立療養所西新潟病院
白根健生病院
石黒病院
長岡療育園
厚生連村上総合病院

16 : 富山県

黒部市民病院
上市厚生病院
新湊市民病院
市立砺波総合病院
富山赤十字病院
富山県済生会 高岡病院
厚生連清川病院
社会保険 高岡病院
高木総合病院
公立学校共済組合北陸中央病院
公立井波総合病院
水見市民病院
富山医科大学附属病院
富山県立高志学園
富山医療生活協同組合 富山協立病院
富山県高志リハビリテーション病院
八尾総合病院
富山労災病院

17 : 石川県

国立金沢病院
国立山中病院
石川県立中央病院
金沢市立病院
公立加賀中央病院
町立富来病院
市立輪島病院
済生会金沢病院
公立松任石川中央病院

公立鶴来総合病院
社保鳴和総合病院
金沢聖霊総合病院
松田小児科病院
蓮井小児科病院
恵寿総合病院
公立羽咋病院
浅ノ川総合病院
国療医王病院
国保町立根上総合病院
珠州市総合病院
城北病院
金沢医科大学病院
石川整肢学園
金沢西病院
国療七尾病院
国療石川病院
公立穴水総合病院
公立宇出津総合病院
医療法人社団和楽仁辰口芳珠記念病院
国民健康保険志雄病院

18：福井県

国立療養所福井病院
国立鯖江病院
福井県立病院
町立三国病院
市立敦賀病院
福井赤十字病院
福井県済生会病院
社保勝山病院
(財)今立中央病院
(医療)安川病院
国立療養所北潟病院
福井県小児療育センター
新田塚医療福祉センター福井総合病院
笠原病院
福井心臓血管センター 福井循環器病院
(医療)福井愛育病院
中村病院
社保高浜病院
福井厚生病院
齊藤病院
産婦人科・小児科玉井病院

19：山梨県

山梨県立中央病院
韮崎市立病院
富士吉田市立病院
社保山梨病院
巨摩共立病院
加納岩総合病院
塩山市民病院
都留市立病院
加納岩病院附属山梨温泉病院
桃花会一宮温泉病院
国療西甲府病院
甲府共立病院
山梨医科大学
市川大門町立病院
三枝病院

20：長野県

国立長野病院
国立松本病院
信州大学病院
長野県立阿南病院
長野県立木曾病院
佐久町立千曲病院
市立岡谷病院
伊那中央総合病院
市立大町総合病院
諏訪赤十字病院
長野赤十字病院
長野県厚生農協連 佐久総合病院
長野県厚生農協連 安曇総合病院
長野県厚生農協連 北信総合病院
長野厚生農協連 新町病院
(医療)慈泉会 相澤病院
長野中央病院
N T T長野病院
佐久市立国保浅間総合病院
国療中信松本病院
昭和伊南総合病院
丸子中央総合病院
(医療)丸の内病院
飯田市立病院
城西病院
小海赤十字病院
国保依田窪病院
(医療)健教会 柳沢病院
信濃医療福祉センター
長野県厚生農協連 富士見高原病院

医療法人心泉会上條記念病院
長野県厚生農協連 篠ノ井総合病院
医療法人新生病院
長野松代総合病院
健和会病院
松本協立病院

21：岐阜県

国療長良病院
岐阜県立多治見病院
岐阜市民病院
羽島市民病院
国保関ヶ原病院
大垣市民病院
白鳥町国保白鳥病院
多治見市民病院
土岐市立総合病院
総合病院中津川市民病院
金山町国保金山病院
総合病院 高山赤十字病院
岐阜県厚生農協連 岐北総合病院
岐阜県厚生農協連 養老中央病院
岐阜県厚生農協連 揖斐総合病院
岐阜県厚生農協連 総合病院 中濃病院
岐阜県厚生農協連 総合病院 昭和病院
岐阜社会保険病院
郡上広域行政事務組合 郡上中央病院
木沢記念病院
タジミ第1病院
みどり病院
海津郡医師会病院
産科婦人科小川クリニック
医療法人藤掛病院
県立希望ヶ丘学園
岐阜県立下呂温泉病院
国保神岡町病院
国療岐阜病院
松波総合病院
国保坂下病院
岐阜赤十字病院
藤掛第一病院
河村病院
岐阜県厚生連久美愛病院

22：静岡県

国立静岡病院
国立熱海病院
国立東静岡病院
国立浜松病院
国療天竜病院
伊豆通信病院
静岡県立総合病院
静岡市立静岡病院
沼津市立病院
富士市立中央病院
清水市立病院
共立蒲原総合病院
藤枝市立総合病院
焼津市立総合病院
市立島田市立病院
榛原総合病院
掛川市立総合病院
共立菊川総合病院
公立森町病院
磐田市立総合病院
袋井市立袋井市民病院
共立湖西総合病院
総合病院 静岡赤十字病院
伊豆赤十字病院
中駿赤十字病院
静岡済生会総合病院
総合病院 静岡厚生病院
総合病院 清水厚生病院
遠州総合病院
県西部浜松医療センター
順天堂大学医学部附属順天堂伊豆長岡病院
聖隷福祉事業団総合病院 聖隷浜松病院
聖隷福祉事業団総合病院 聖隷三方原病院
豊岡会ほまなこ病院
社保三島病院
共立湊病院
(社)有隣厚生会 富士病院
清風会 芹沢病院
浜松医科大学附属病院
浜松労災病院
社保桜ヶ丘総合病院
社会保険浜松病院
浜松北病院
浜松みなみ病院
町立浜岡病院
引佐赤十字病院

23：愛知県

国立名古屋病院
国立豊橋病院
国療中部病院
名古屋大学病院
(J R) 東海総合病院
名古屋通信病院
名古屋市立東市民病院
名古屋市立城北病院
名古屋市立城西病院
名古屋市立大学病院
岡崎市民病院
市立半田病院
豊川市民病院
津島市民病院
公立尾陽病院
稲沢市民病院
常滑市民病院
新城市民病院
名古屋第一赤十字病院
名古屋第二赤十字病院
海南病院
愛知県厚生農協連 加茂病院
愛知県厚生農協連 昭和病院
愛知県厚生農協連 渥美病院
社保中京病院
名鉄病院 宮津光伸先生
東海病院
名古屋掖済会病院
(財)名港福厚協会 臨港病院
上飯田第一病院
笠寺病院
総合大雄会病院
共立聖南会 荻野病院
刈谷総合病院
松陽会 松浦病院
(医療)光生会病院
東海市民病院
三菱名古屋病院
トヨタ記念病院
偕行会 名古屋共立病院
清慈会 鈴木病院
心正会 鈴木小児科
秋田病院
名南病院
一心会加藤産婦人科病院
県立尾張病院
豊田地域医療センター
豊成会竹内病院
名古屋市立緑市民病院
清水会 相生山病院
N T T東海総合病院
南生協病院
藤田保健衛生大学病院
藤田保健衛生大学 坂元種報徳会病院
愛知医科大学病院
愛知県コローニ中央病院
福祉会 高須病院
みなと医療生協協立総合病院
(医療)宝美会 総合青山病院
(医療)志聖会 犬山中央病院
愛知県厚生農協連 尾西病院
(医療)済衆館病院
愛知県厚生農協連 知多厚生病院
旭労災病院
医療法人幸会南陽病院
国立療養所豊橋東病院
中西病院
一宮市立病院今伊勢分院
医療法人青山病院
医療法人大医会日進おろど病院
医療法人宏和会山口病院
医療法人徳洲会名古屋徳洲会病院
安藤病院
医療法人渡辺病院
高浜市立病院

24：三重県
国療鈴鹿病院
国立三重中央病院
三重大学病院
三重県立一志病院
三重県立志摩病院
桑名市民病院
市立四日市病院
(総合病院) 松阪市民病院
市立伊勢総合病院
尾鷲総合病院
紀南病院
山田赤十字病院
三重県厚生連 松阪中央総合病院
四日市社会保険病院
(財)四日市港湾福利厚生協会 築港病院

山本総合病院
二宮病院
村瀬病院
岡波総合病院
三重県厚生連 鈴鹿中央総合病院
国療三重病院
慶応大学伊勢慶応病院
(医療)大西病院
医療法人ヨナハ病院
鈴鹿回生総合病院

25：滋賀県

大津市民病院
公立甲賀病院
近江八幡市民病院
彦根市立病院
市立長浜病院
伊香郡病院組合立湖北総合病院
公立高島総合病院
済生会滋賀県病院
社会保険滋賀病院
重症心身障害児施設第一びわこ学園
誠光会草津総合病院
国保能登川病院
蒲生町国保蒲生町病院
重身心身障害児施設第二びわこ学園
国立八日市病院
(医療)彦根中央病院
守山市民病院
滋賀医科大学病院
野洲病院
国療紫香楽病院
医療法人弘英会 琵琶湖大橋病院
日野記念病院
友仁山崎病院

26：京都府

市立福知山市民病院
国立舞鶴病院
京都大学病院
京都専売病院
京都市立病院
市立舞鶴市民病院
京都第二赤十字病院
京都第一赤十字病院
社会保険京都病院
舞鶴共済病院
総合病院 日本パプテスト病院
(社)愛生会 山科病院
堀川病院
総合病院 京都南病院
(医療)大羽病院
(社会福祉法人)京都博愛会病院
富田病院
府立舞鶴子ども療育センター
国保久美浜病院
国療南京都病院
西京都病院
国療宇多野病院
京都社会事業財団 京都桂病院
関西医科大学男山病院
公立山城病院
(社福)聖ヨゼフ会 聖ヨゼフ整肢園
(医療)医仁会 武田総合病院
関西医科大学附属 洛西ニュータウン病院
(医療)宇治徳洲会病院
(医療)啓信会 京都きづ川病院
(医療)医誠会 京都ルネス病院
武田病院
金井病院
社団法人京都保健会京都民医連 中央病院
恵仁会 なぎ辻病院
医聖会京都八幡病院
花ノ木医療福祉センター
京都府立医科大 小児疾患研究施設内科部門

27：大阪府

国立大阪病院
国立大阪南病院
大阪大学医学部附属病院
大阪通信病院
大阪府立病院
大阪市立十三市民病院
大阪市立住吉市民病院
市立堺病院
市立豊中病院
大阪市立弘済院附属病院
市立枚方市民病院
八尾市立病院
泉大津市立病院
市立岸和田市民病院
市立泉佐野病院
大阪赤十字病院

済生会 中津病院
大阪府済生会 泉尾病院
済生会野江病院
大阪府済生会 吹田病院
大阪厚生年金病院
大食連健保長堀病院
松下記念病院
大手前病院
新香里病院
住友病院
大阪掖済会病院
日本生命済生会 日生病院
聖バルナバ病院
大阪附警察協会大阪警察病院
(財)労働衛生センター第一病院
(財)西淀病院
浅香山病院
(医療)きっこう会 総合病院多根病院
彰療会 大正病院
景岳会総合病院 南大阪病院
同仁会 耳原総合病院
(医療)杏林会 金岡病院
貴島会 貴島病院本院
宝生会 PL病院
大阪医科大学病院
関西医科大学病院
関西電力病院
大阪明暁館病院
大阪回生病院
淀川キリスト教病院
千里保健医療センター新千里病院
真美会 中野こども病院
寺西報恩会 長吉総合病院
野田記念病院
医誠会摂津医誠会病院
医療法人東和会病院
医療法人枚岡病院
野上病院
三世会森本病院
錦秀会阪和住吉総合病院
回生会藤田病院
大阪市立総合医療センター 小児循環器内科
至道会伊藤病院
白卯会白井病院
大道会大道病院
石田病院
三友会久松病院
市立柏原病院
大阪赤十字病院附属大手前整肢学園
(医療)中本会 中本病院
仙養会 北摂病院
有恵会 有沢総合病院
近畿大学医学部堺病院
大阪労災病院
国立循環器病センター
大阪北通信病院
市立松原病院
和泉市立病院
高槻赤十字病院
星ヶ丘厚生年金病院
愛仁会 千船病院
清恵会病院
岸和田徳洲会病院
友隣会 協立病院
(医療)有恵会 香里ヶ丘有恵会病院
近畿大学医学部附属病院
大阪社会医療センター附属病院
愛徳福祉会 南大阪療育園
温心会 堺温心会病院
富田林病院
信愛会 交野病院
大阪府立羽曳野病院
結核予防会大阪府支部大阪病院
浪速医療生協 芦原病院
(医療)公道会病院
誠会 城東中央病院
大道会 ボパース記念病院
協和会 北大阪病院
錦秀会 阪和泉北病院
以和貴会 北条病院
大阪府立身体障害者福祉センター病院
箕面市立病院
茨木医誠会病院
信愛会 新生病院
祐生会 みどりヶ丘病院
加藤病院
守口敬仁会病院
康生会 みと中央病院
生協こども診療所
徳洲会 八尾徳洲会病院
阪南市立病院
愛仁会 理学診療科病院
医誠会病院

同友会 共和病院
東和病院
貴生病院
愛替会浜田病院
紀和会 正風病院
生長会 ベルランド総合病院
市立藤井寺市民病院
大植会葛城病院
蒼生病院

28：兵庫県

国立姫路病院
国療兵庫中央病院
神戸大学病院
関西労災病院
兵庫県立尼崎病院
兵庫県立塚口病院
兵庫県立西宮病院
神戸市立中央市民病院
兵庫県立加古川病院
明石市立市民病院
市立三木市民病院
公立豊岡病院
西宮市立中央病院
加古川市民病院
市立川西病院
市立伊丹病院
公立八鹿病院
公立御津病院
高砂市民病院
市立西脇病院
三田市民病院
姫路赤十字病院
柏原赤十字病院
済生会 兵庫県病院
社保神戸中央病院
公学共済 近畿中央病院
神戸掖済会病院
(医療)明和病院
神鋼病院
三菱神戸病院
鐘紡記念病院
広畑製鉄所病院
石川島播磨重工業健保組合 健保組合播磨病院
丸山病院
(医療)純徳会 田中病院
上田病院
六甲アイランド病院
西神戸医療センター
適寿リハビリテーション病院
佐野伊川谷病院
神戸市立西市民病院
公立香住総合病院
神戸赤十字病院
(医療)一葉会 佐用共立病院
砂子療育園
西宮回生病院
自衛隊 阪神病院
兵庫県立こども病院
公立社病院
公文病院
兵庫医科大学病院
明舞中央病院
(医療)尚和会 第一病院
須磨赤十字病院
尼崎医療生協病院
(医療)協和会協立病院
(医療晋真会)ペリタス病院
国立加古川病院
神鋼加古川病院
私立吉川病院
公立神崎総合病院
兵庫県立柏原病院
田所病院
国立神戸病院
市立加西病院
神戸朝日病院
医療法人慈恵会 新須磨病院
神戸徳洲会病院
神戸アドベンチスト病院
真星病院
医療法人 パルモア病院
宝塚市立病院
医療法人順心会 順心病院
中町赤十字病院
医療法人伯鳳会 赤穂中央病院

29：奈良県

国立奈良病院
奈良県立医科大学病院
榛原町立榛原総合病院
大和高田市立病院

吉野町国保吉野病院
町立大淀病院
済生会 奈良病院
奈良社会保険病院
天理よろづ相談所病院
奈良県心身障害者リハビリテーションセンター
天理市立病院
奈良県立奈良病院
奈良県立五條病院
岡谷病院
高の原中央病院
奈良県立三室病院
東生駒病院
済生会 中和病院
済生会 御所病院
清心会 桜井病院
友誼会 病院

30：和歌山県

和歌山県立医科大学病院
和歌山県立医科大学病院紀北分院
海南市民病院
国保那賀病院
国保橋本市民病院
国保日高総合病院
社保紀南総合病院
総合病院新宮市立市民病院
日本赤十字社和歌山医療センター
済生会 有田病院
医療法人共栄会名手病院
榎本病院
白浜はまゆう病院
宇都宮病院
国療和歌山病院
那智勝浦町立温泉病院
労働福祉事業団 和歌山労災病院
和歌山生協病院

31：鳥取県

鳥取大学病院
鳥取県立中央病院
鳥取県立厚生病院
鳥取市立病院
国保智頭病院
鳥取県済生会 境港総合病院
日野郡厚生農協連 日野病院
(医療) 十字会 野島病院
博愛病院
鳥取生協病院
西伯町国民健康保険西伯病院
県立皆生小児療育センター
国療西鳥取病院

32：鳥根県

大田市立病院
国立浜田病院
松江市立病院
平田市立病院
公立雲南総合病院
島後町村組合立隠岐病院
松江赤十字病院
済生会 江津総合病院
津和野共存病院
日原共存病院
平成記念病院
東部島根心身障害医療・福祉センター
町立広瀬病院
松江生協病院
島根医科大学病院
国療松江病院
安来第一病院
西部島根心身障害医療福祉センター
松江記念病院
益田地域医療センター医師会病院

33：岡山県

国立岡山病院
岡山大学病院
総合病院 岡山市立市民病院
倉敷市立児島市民病院
市立井原市民病院
総合病院 岡山赤十字病院
川崎医科大学附属川崎病院
(財) 志清会 岡山記念病院
(財) 倉敷中央病院
(財) 弘仁会 総合病院玉島病院
総合病院 津山中央病院
光生病院
(医) 水と和 水島中央病院
柵原病院
金田病院
さとう記念病院
市立玉野市民病院

旭川療育センター
美作中央病院
国療南岡山病院
重井医学研究所附属病院
倉敷記念病院
川鉄水島病院
和香会 倉敷廣済病院
笠岡中央病院
笠岡第一病院
岡山労災病院
倉敷北病院
長島病院

34：広島県

国立呉病院
国療広島病院
広島鉄道病院
広島通信病院
県立広島病院
県立安芸津病院
社保広島市民病院
世羅中央病院
広島赤十字・原爆病院
総合病院 三原赤十字病院
総合病院 庄原赤十字病院
広島厚生連農協 尾道総合病院
厚生連 広島総合病院
広島県厚生農協連 吉田総合病院
広島県厚生農協連 府中総合病院
日立造船健保因島総合病院
呉共済病院
中国電力株式会社 中電病院
総合病院 三菱三原病院
マツダ株式会社 マツダ病院
済生会広島病院
新宮島病院
千代田中央病院
真愛病院
国保上下病院
国療賀茂病院
尾道市立市民病院
日本鋼管福山病院
広島市立舟入病院
福山市市民病院
広島医療生協広島共立病院
ワカサ病院
広島市立安佐市民病院
中国労災病院
県立身体障害者リハビリテーションセンター
因島市医師会病院
多田病院
みのり会 北川病院
公立みつぎ総合病院
あかね会 土谷総合病院
光仁会 梶川病院
うすい会 高陽ニュータウン病院
呉市医師会病院
松田病院
樹章会 本永病院
里仁会 興生総合病院
福山循環器病院

35：山口県

国立下関病院
国立岩国病院
国立山口病院
山口大学病院
山口県立中央病院
下関市立中央病院
総合病院 光市立病院
小野田市立病院
山陽中央総合病院
豊田中央病院
共立美東国保病院
総合病院 山口赤十字病院
済生会 下関総合病院
周東総合病院
小郡第一総合病院
長門総合病院
社保下関厚生病院
社保徳山中央病院
オープンシステム 徳山医師会病院
神徳会 三田尻病院
日立病院
岩国市医療センター医師会病院
山口労災病院
鼓ヶ浦整肢学園
和同会山口リハビリテーション病院
国療山陽荘病院
同仁会 徳山記念病院
元洋会 森山病院
松涛会 安岡病院
国療柳井病院

済生会 山口総合病院
宇部興産 中央病院
町立大和総合病院
緑山会 鹿野博愛病院
同仁会 下松記念病院
治徳会 湯野温泉病院
宇部協立病院

36：徳島県

国療徳島病院
徳島県立中央病院
徳島市民病院
町立半田病院
国保勝浦病院
小松島赤十字病院
阿南共栄病院
厚生連 麻植協同病院
阿南医師会中央病院
徳島県立海部病院
修誠会 吉野川病院
阿波病院
徳島県立ひのみね整肢医療センター ひのみね学園
(医療) 雙立会 碩心館病院
田中病院

37：香川県

国立善通寺病院
香川県立中央病院
大川総合病院
土庄町立中央病院
総合病院 坂出市立病院
高松赤十字病院
屋島総合病院
滝宮総合病院
麻田総合病院
内海病院
国療香川小児病院
香川県済生会病院
香川県立白鳥病院
坂出聖マルチン病院
香川医科大学病院
香川県身体障害者総合リハビリテーションセンター
香川町国民健康保険香川病院
高松平和病院
大樹会総合病院 回生病院
井下病院

38：愛媛県

国療愛媛病院
愛媛県立中央病院
愛媛県立今治病院
愛媛県立伊予三島病院
県立北宇和病院
愛媛県立南宇和病院
町立宇和病院
町立野村病院
市立宇和島病院
町立吉田総合病院
総合病院松山赤十字病院
西条中央病院
住友別子病院
高岡眼科・小児科診療所
愛媛労災病院
山内病院
更生会 村上記念病院
長谷川病院
公立周桑病院
総合病院 松山市民病院
愛媛県立新居浜病院
北辰会 まなべ病院
済生会今治病院
松山西病院
美須賀病院
大洲市立大洲病院

39：高知県

国立高知病院
高知県立中央病院
仁淀地区国保組合病院
高知市立市民病院
土佐市立土佐市民病院
高知赤十字病院
高知県農協総合病院
柳瀬病院
須崎くろしお病院
聖真会 渭南病院
高知県立西南病院
島本病院
第1希望の家
(医療) 仁生会 三愛病院
芳公会 香長中央病院

